

自治協ニュース

第2803号
発行者
八本松小学校区
住民自治協議会
H28. 7. 20

八本松小学校 新校舎誕生

近未来型校舎 教育環境の充実と地域の活性化に期待



【右の写真】左から高木校長、岡野さん、蔵田市長

新たなステージ 新たな挑戦に誓い

八本松小学校は、6月18日小学校体育館で蔵田市長をはじめとする来賓諸氏ならびに全校児童と全教職員の約900名により新校舎落成記念式を行った。

同校は42年前の昭和49年に開校され、以来5400名の卒業生を送り出し、輝かしい実績と多くの思い出を育んできた。しかし、最近全国の地震災害等により耐震性を備えた安全な施設が求められ建て替え工事の運びとなった。

工期15か月、総工費約11億円で平成27年度末に完成した。この新校舎は多様な学びと遊びの空間を持つ工夫された近未来型の施設であること

もに障害を持つ児童にもやさしい施設や構造を持っており、東広島市が昨年策定した「東広島市まら・ひと・しごと創生総合戦略」のなかで定める「子育てするなから東広島市」と地域の活性化の実現に寄与する事が期待されている。また、内部に設けられた広い空間と吹き抜け構造も耐震度を最優先し、防火シャッター、外階段等防災面でも安全性が図られており、地域の安全な避難場所としても期待されている。

高木校長は式辞で建設に尽力された関係者の方々にお礼を述べるとともに、「素晴らしい校舎にふさわしい成果をあげるため、PTAの皆さまのご協力のもと全校児童と全教職員が力を合わせ新たな歴史を作る覚悟で教育活動に取り組む」ことを誓った。また、児童代表の岡野さん(6年生)は「校舎の建設に携われた方々に感謝し、この気持ちをお忘れず新しい思い出や新校舎に負けない素晴らしい伝統を作り出す」とお礼の言葉を述べた。



特に不審者を当てるクイズで「悪いことをする人は普通の格好をしています」との答えに親子ともうなずく姿が見られた。また、小学校も夏休み期間中は人の出入りが少ないうえ助けを求める

自治協防犯部会 PTA 親子防犯教室開く

危険を感じたらすぐに逃げよう

自治協防犯部会は7月2日、八本松小学校3年生のPTAの協力を得て「親子防犯教室」を開催した。

参加した児童は「今日の話をお父さんに話し、不審者役になってもらい逃げる練習をします」と危険を感じたらすぐ逃げることの大切さを強調していた。

当日は昨年を上回る250名の児童(3年生)と保護者が集まり、スライドやクイズ、寸劇により子供たちが犯罪に巻き込まれないための対策を学んだ。

声も届かない可能性があり「できるだけ一人にならない」よう注意が呼びかけられた。



ステージで逃げる訓練をする児童